

平成24年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月10日

上場取引所 大

上場会社名 協立電機株式会社

コード番号 6874 URL <http://www.kdwan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西 雅寛

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長

(氏名) 中木 照雄

TEL 054-288-8888

四半期報告書提出予定日 平成24年5月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第3四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第3四半期	20,667	27.3	592	298.5	689	216.5	353	207.0
23年6月期第3四半期	16,235	12.5	148	—	217	—	115	—

(注) 包括利益 24年6月期第3四半期 441百万円 (146.8%) 23年6月期第3四半期 178百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第3四半期	107.05	—
23年6月期第3四半期	34.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年6月期第3四半期	21,215	6,682	30.3
23年6月期	16,388	6,337	37.3

(参考) 自己資本 24年6月期第3四半期 6,436百万円 23年6月期 6,108百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	0.00	—	25.00	25.00
24年6月期	—	0.00	—	—	—
24年6月期(予想)	—	—	—	27.50	27.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	31.8	650	470.7	750	290.6	350	216.8	106.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
詳細は、添付資料4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 無
④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年6月期3Q	3,641,000 株	23年6月期	3,641,000 株
② 期末自己株式数	24年6月期3Q	345,066 株	23年6月期	335,866 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年6月期3Q	3,299,801 株	23年6月期3Q	3,339,134 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、震災による大きなダメージからの立直りの過程でタイ洪水と円高の進行等による追い打ちを受け、回復が遅れていましたが、当第3四半期連結累計期間に入り、円高の修正や政府支出による復興需要等によりプラス要因が出てきた一方で、欧州の金融不安、米国の景気回復の減速や中国等新興国経済の成長鈍化等の海外経済の不安要因は根強く残り、さらに原油等の資源高もコストアップ要因となっており、業種や企業毎に好調、不調が鮮明になる状況下で推移いたしました。

当社グループとしましては順調に回復する国内の設備投資を確実に取り込み取引拡大に繋げた一方で、海外への製造設備移転に伴う新規設備投資需要も海外拠点との協業により積極的に取り込んだことにより、当第3四半期連結累計期間は増収増益となり、順調に推移いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は206億67百万円（前年同四半期比27.3%の増）となり、損益面としましては、営業利益が5億92百万円（同298.5%の増）、経常利益が6億89百万円（同216.5%の増）、四半期純利益が3億53百万円（同207.0%の増）となりました。

なお、当社グループのセグメント別概況は次のとおりです。

<インテリジェントFAシステム事業>

インテリジェントFAシステム事業では、海外向けを中心に新規設備投資需要が旺盛であったこと、スマートグリッド関連の大型新製品の発売が開始され滑り出し好調なこと等の要因により好調に推移しました。

以上の結果、インテリジェントFAシステム事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は79億80百万円（前年同四半期比45.7%の増）、営業利益は2億98百万円（同15.3倍）となりました。

<IT制御・科学測定事業>

当事業のうちIT制御は主として製造業の合理化・研究開発の自動化等を目的とした設備投資の対象であるため、比較的景況の影響を受け易い傾向があります。一方、当事業の中でも科学測定分野は科学分析・計測機器等に代表される企業の新製品開発を目的とする部門や品質管理部門を対象とするため、景気の動向に左右されにくく安定的な分野であります。当第3四半期連結累計期間においては科学分析機器が好調であったことに加え、バルブ等のアクチュエーターを扱う子会社が好調に推移しました。

以上の結果、IT制御・科学測定事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は126億22百万円（前年同四半期比17.9%の増）、営業利益は4億99百万円（同42.6%の増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産の合計額は212億15百万円で、前連結会計年度末に比し48億27百万円の増加となりました。これは主として取引の伸張により、受取手形及び売掛金が35億26百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては負債の合計額が145億33百万円で、前連結会計年度末に比べ44億82百万円の増加となりました。これは主として取引伸張により支払手形及び買掛金が27億60百万円増加し短期借入金も10億円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては純資産の合計額が66億82百万円で、前連結会計年度末に比べ3億44百万円の増加となりました。これは主として四半期純利益等による利益剰余金の増加が2億70百万円あったことと、株価の回復によりその他有価証券評価差額金が69百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

我が国経済は、海外主要国経済の減速や為替変動による輸出の減少、さらには電力供給力に対する不確実性等マイナス要因も多く出ていますが、政府予算案の執行による復興需要が国内の設備投資需要を押し上げること、さらには円高により製造業の海外移転がさらに一段と加速してきている状況下、主要アジア諸国にネットワークを張り巡らしている当社グループにとっては新たな市場の拡大が期待できることでもあり、これらを確実に業績に結びつけることにより、さらに業績の改善が見込まれます。

斯様な環境下、当社グループは平成23年12月に発売開始したスマートグリッド関連の大型新製品が好調であり、また半導体基板検査機の分野においても画像処理の技術を駆使した新製品の発売開始をはじめ、アジレント社との業務提携によるラインアップの拡大により業界で唯一、I C T、F C T、A O I、X線検査の全てを揃えたメーカーとして、これら新製品がさらに業績拡大を大きくするものと見込める上、日系企業の海外工場向け等の海外ビジネスも今後、一段と業績に寄与するものと思われております。

なお、平成24年6月期の通期連結業績予想につきましては、平成24年2月2日に公表した修正業績予想の数字になるものと予想しております。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	557,747	727,633
受取手形及び売掛金	6,924,067	10,450,425
有価証券	106,905	553,203
商品及び製品	372,659	445,645
仕掛品	370,085	438,259
原材料	514,598	589,981
その他	375,778	471,585
貸倒引当金	△85,604	△98,093
流動資産合計	9,136,237	13,578,641
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,289,258	4,364,131
その他（純額）	930,889	934,264
有形固定資産合計	5,220,147	5,298,395
無形固定資産	85,342	76,575
投資その他の資産		
投資有価証券	1,436,413	1,761,761
その他	592,319	586,410
貸倒引当金	△82,445	△86,421
投資その他の資産合計	1,946,288	2,261,750
固定資産合計	7,251,777	7,636,722
資産合計	16,388,015	21,215,363
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,270,022	8,030,933
短期借入金	3,300,000	4,300,000
未払法人税等	46,490	287,933
賞与引当金	91,189	192,491
役員賞与引当金	13,000	—
その他	666,367	917,679
流動負債合計	9,387,070	13,729,037
固定負債		
長期借入金	—	110,007
退職給付引当金	109,255	120,304
負ののれん	10,902	8,176
その他	543,389	565,607
固定負債合計	663,547	804,096
負債合計	10,050,617	14,533,134

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,440	1,441,440
資本剰余金	1,830,491	1,830,491
利益剰余金	3,574,450	3,844,917
自己株式	△483,531	△495,316
株主資本合計	6,362,851	6,621,533
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△254,250	△185,221
その他の包括利益累計額合計	△254,250	△185,221
少数株主持分	228,797	245,917
純資産合計	6,337,397	6,682,228
負債純資産合計	16,388,015	21,215,363

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成23年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)
売上高	16,235,972	20,667,869
売上原価	13,810,944	17,597,589
売上総利益	2,425,027	3,070,280
販売費及び一般管理費	2,276,248	2,477,462
営業利益	148,779	592,817
営業外収益		
受取利息	7,202	9,107
受取配当金	7,187	9,294
仕入割引	21,793	25,469
持分法による投資利益	5,817	6,043
負ののれん償却額	2,725	2,725
助成金収入	17,730	39,163
雑収入	32,221	31,113
営業外収益合計	94,679	122,916
営業外費用		
支払利息	16,952	17,216
手形売却損	1,355	4,657
売上割引	2,857	2,531
雑損失	4,528	2,045
営業外費用合計	25,694	26,450
経常利益	217,764	689,282
特別利益		
固定資産売却益	1,702	597
投資有価証券売却益	2,148	17,279
負ののれん発生益	1,357	1,292
債務免除益	—	11,000
特別利益合計	5,208	30,169
特別損失		
固定資産除却損	7,064	2,963
固定資産売却損	101	23
固定資産圧縮損	985	—
有価証券償還損	—	31,099
特別損失合計	8,151	34,086
税金等調整前四半期純利益	214,820	685,365
法人税等	101,821	308,165
少数株主損益調整前四半期純利益	112,998	377,200
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	△2,078	23,966
四半期純利益	115,077	353,234

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成23年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	112,998	377,200
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	65,753	64,181
持分法適用会社に対する持分相当額	77	32
その他の包括利益合計	65,831	64,213
四半期包括利益	178,829	441,413
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	173,880	422,263
少数株主に係る四半期包括利益	4,949	19,150

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年7月1日 至 平成23年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,479,241	10,703,696	16,182,938	53,033	16,235,972
セグメント間の内部売上高又は振替高	33,013	32,260	65,274	35,261	100,535
計	5,512,255	10,735,957	16,248,212	88,294	16,336,507
セグメント利益	19,597	350,484	370,082	38,174	408,257

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	370,082
「その他」の区分の利益	38,174
全社費用(注)	△259,477
四半期連結損益計算書の営業利益	148,779

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,980,606	12,622,230	20,602,837	65,031	20,667,869
セグメント間の内部売上高又は振替高	67,466	62,303	129,770	44,123	173,893
計	8,048,073	12,684,534	20,732,608	109,154	20,841,763
セグメント利益	298,939	499,861	798,800	72,418	871,219

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	798,800
「その他」の区分の利益	72,418
全社費用(注)	△278,402
四半期連結損益計算書の営業利益	592,817

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。